

令和5年度
事業計画書

公益財団法人 山口県学校給食会

目 次

令和 5 年 度 事 業 計 画

| | | |
|----------------------------|-------|----|
| 事業目的・役職員等構成・学校給食会の事業 | ----- | 2 |
| 1 学校給食用物資の安定供給に関する事業 | ----- | 3 |
| 2 学校給食の充実発展及び食育推進の支援に関する事業 | ----- | 4 |
| 3 学校給食用物資の安全及び衛生管理に関する事業 | ----- | 6 |
| 4 設備投資について | ----- | 8 |
| 5 車両関係の修理について | ----- | 8 |
| 6 施設の修繕について | ----- | 9 |
| 7 職員研修等の実施について | ----- | 9 |
| 8 資産取得資金の積立について | ----- | 9 |
| 9 令和5年度 行事予定 | ----- | 10 |

令和5年度事業計画

《 事業目的 》

本会の目的である、学校給食の円滑な実施とその充実発展及び食育の推進を積極的に支援するため、令和4年度に引き続き、「学校給食用物資の安定供給事業」による良質で多種多様な物資の提供とその価格の安定に努めるとともに、「学校給食の安全・安心」のため、ノロウイルスやO157等による食中毒、学校給食用物資によるアレルギー事故、重大な異物混入事故の防止に全力を尽くすこととする。

また、新型コロナウイルスの感染が収まらない中、令和4年度は、物資の配送には影響がなかったものの、当会でも複数の職員に感染者や濃厚接触者が出たこともあり、あらためてマスクや手洗い等、基本的な感染対策を徹底し、学校給食用物資の安定供給に努める。さらに、学校給食における地産地消の推進に寄与するため、地場産食材を使用した新商品の開発等にも積極的に取り組むが、引続き、令和元年度に発生した納入業者による産地偽装を踏まえ、産地確認、製造工場の立入調査等物資管理の徹底を図る。

令和5年度は、新型コロナウイルスは落ち着きつつあるものの、児童・生徒数の減少により給食人員は減少が見込まれ、また、エネルギー価格は高止まり、食品等も値上げが続くことに加え、光熱費、とりわけ電気料金的大幅な値上げが予想されるなか、本会は、学校給食の安定供給とその充実発展のため公益財団法人としての役割を積極的に果たしていくこととする。

I 役員・評議員・職員等の数（令和5年4月1日現在）

理事 7名（理事長1 常務理事1 理事5）

監事 2名

評議員 9名

職員 11名（男 9 女 2） 再採用職員 2名（男 2）

臨時職員 16名（男14 女 2）

パート職員 2名（女 2）

II 学校給食会の事業

○学校給食用物資の安定供給に関する事業

○学校給食の充実発展及び食育推進の支援に関する事業

○学校給食用物資の安全及び衛生管理に関する事業

○その他（災害救助の支援物資の供給）

1 学校給食用物資の安定供給に関する事業

(1) 種類別学校数・対象者数（児童・生徒・教職員）

| 完全給食 種 別 | | 令和5年度（推計） | | 令和4年度 | | 増 減 | |
|-------------|----|-----------|---------|-------|---------|-----|--------|
| | | 校数 | 人数 | 校数 | 人数 | 校数 | 人数 |
| 小学校 | 公立 | 269 | 67,736 | 269 | 68,919 | 0 | △1,183 |
| | 国立 | 2 | 826 | 2 | 841 | 0 | △15 |
| | 計 | 271 | 68,562 | 271 | 69,760 | 0 | △1,198 |
| 中学校 | 公立 | 139 | 34,926 | 139 | 35,535 | 0 | △609 |
| | 国立 | 1 | 265 | 1 | 270 | 0 | △5 |
| | 計 | 140 | 35,191 | 140 | 35,805 | 0 | △614 |
| 特別支援学校（国立含） | | 13 | 2,539 | 13 | 2,582 | 0 | △43 |
| 合 計 | | 424 | 106,292 | 424 | 108,147 | 0 | △1,855 |

※ 令和4年度数値は、山口教育庁令和4年5月1日現在「教育委員会・学校一覧（教育調査資料第209集）」より算出。令和5年度推計値は、各市町より県統計分析課提出の「令和3年国勢調査（不詳補完値）市町年齢別人口（各歳）」（令和3年10月1日現在）を参考にし、て予測。校数は休校・分校を除く。

(2) 物資取扱計画（数量・金額） ※税別、（ ）内は令和4年度の仮決算推計値

| 品 名 | 取扱数量 | 売上高 （単位：千円） |
|------------------|------------------------------|--|
| パ ン | 5,420,000 食 (5,514,000 食) | 287,000 (278,460) |
| 委託炊飯（米飯） | 341,000 kg (347,000kg) | 272,960 (278,610) |
| 自校炊飯（精米・アルファ化米等） | 611,000 kg (622,000kg) | 183,840 (174,430) |
| 計 | | 743,800 (731,500) |
| 一 般 食 品 | | 320,775 (320,720) |
| 冷 凍 食 品 | | 697,225 (692,080) |
| 非 食 品 | | 3,400 (3,400) |
| 計 | | 1,021,400 (1,016,200) |
| 合 計 | | 1,765,200 (1,747,700) |

* 令和5年度は、児童・生徒数の減少に伴い食数は減るものの、小麦・パン副資材、精米、食品の値上がり等により、基本物資・一般物資とも売上増が見込まれるほか、新型コロナウイルスも落ち着きつつあることから、前年度比売上増を見込む。

(3) 良質で多様な物資の調達

基本物資のパン用小麦粉、精米（委託炊飯、自校炊飯用）のほか一般物資として、規格、味覚風味、アレルギー対応など本会の基準を満たした約 1,700 品目を取り扱っている。

また、一般物資については、行政職員や栄養教諭等とで構成する物資選定委員会を開催し、本会が推薦する優良な物資を選定し、利用を呼びかけていく。

学校給食現場における、地産地消の推進による地場産物への希望が多いことから引き続き山口県の地場産物を使用した新商品の開発や、情報提供に積極的に取り組むこととするが、製造業者の指導監督には十分注意を払うこととする。

また、学校給食を通じた食育推進の一環として、鯨肉の販売を通して鯨食習慣の継承にも寄与していく。

(4) 安定価格の維持と安定的な供給

取扱物資の価格は、年度当初に公開し、年間を通じて公表価格以下に抑制し、給食内容の維持、保護者の負担軽減を図っている。

令和5年度は、製造販売業者と交渉をしているなか、エネルギー価格、人件費、原料価格の高騰により昨年度よりも学校給食物資の値上げが大きくなっているが、できるだけ廉価で良質な給食物資の確保に努めることとする。

(5) 配送体制の確立

冷凍冷蔵トラック 10 台、ミニキャブ（冷凍仕様）1 台を配置し、山間部や離島を含めた県下全域に、1 年を通じて遅配や欠配をすることのない配送体制を組むとともに、配送ルート の効率的な運用を図る。なお、冷凍冷蔵トラックについては、配送途中での故障・立往生となるリスクを考慮し、令和3年度、4年度と、年式が古く走行距離が嵩んでいる各1台を入れ替えたが、令和5年度以降も順次入れ替えを行い、より安定した配送体制を確立する。

(6) 物資の保管

調達の物資は、当法人が保有する常温倉庫（846 m²）及び冷凍冷蔵倉庫（約 752 m²）で安全・安心の確保と衛生管理に努め適正に保管する。また、一括購入した季節品食材等については、民間倉庫に保管を委託する。

2 学校給食の充実発展及び食育推進の支援に関する事業

(1) 主催・共催（県教育委員会及び関係諸団体）で、学校給食関係者や保護者、児童・生徒を対象に各種の講演会・研修会を通じて食育推進のための支援事業を実施する。

① 学校給食用物資選定委員会

本会が取り扱う、より良質な物資の選定並びに県内産農畜水産物による食品開発等について審議するため、学校給食関係者で構成する物資選定委員会を開催する。

②山口県学校給食研究協議大会

学校給食の意義と役割に関する認識を深めるとともに食育の推進等の一層の充実・向上を図るため、衛生、食育に関する講演、栄養教諭・学校栄養職員等による事例研究発表を行う。

また、学校給食の優良学校及び学校給食功労者の表彰等、現場士気の向上を図る行事も併せて実施する。

開催日時 令和5年8月17日

会場 山口県総合保健会館

主催 山口県教育委員会、(公財)山口県学校給食会

③ 親子食育実践教室

新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、令和2年度から中止としていた。今後も多人数が一室に集まって数時間行うイベントは難しいとの判断から令和5年度は休止とし、内容を変更する等の検討を行うこととする。

④ 学校給食料理コンクールの開催

夏休み期間に合わせ、山口県内の小中学校児童生徒の工夫に満ちた給食メニューを募集し、コンクールを実施する。また、入賞作品についてレシピ集を作成し、学校等に配布するとともに、ホームページ等で紹介する。

募集時期 令和5年7月～9月

審査 令和5年11月～12月

主催 (公財)山口県学校給食会

(2) 助成事業の実施

学校給食関係者の、学校給食の充実発展と食育の推進に関する活動の活性化や資質の向上に寄与することを目的に、以下の事業を実施する。

① 特定団体への助成

学校給食において重要な役割を持つ山口県学校栄養士会、山口県パン工業協同組合が実施する学校給食の充実発展、食育の推進に関する講演会、研修会などに助成金を支出し、活発な事業展開の支援を行う。

② 公募型の助成

学校給食に関わる者・団体等が児童生徒やその保護者を対象に学校給食の充実発展、食育推進に関する事業を実施する場合に、その事業費の一部を助成するとともに、学校給食関係者が、学校給食に関わる県外で開催される講演会、研修会等に参加する場合に、その旅費の半額を助成する。

③ 一般物資助成

学校給食関係者が、学校給食の充実発展、食育推進に関する事業を実施する場合に、必要な本会取扱いの食材を無償提供する。

(3) 施設の使用及び食育教材等の無償貸出事業

学校及び学校給食に係わる団体等に対し、当法人が保有する施設の使用及び食育教材（指導用年代別給食・郷土料理モデルレプリカ、ビデオ・DVD（教材用、衛生管理）、各種オードブル皿、紙芝居等）の無償貸付を実施する。

(4) 山口県産品を使用した新商品の開発・情報発信

山口県産の食材を使用した新商品の開発を行うため、学校栄養士会、給食会、製造メーカーとの連携により、給食会のオリジナル商品開発に取り組むとともに、これまで作成してきた県産品をホームページに掲載し、広く情報発信する。

3 学校給食用物資の安全及び衛生管理に関する事業

(1) 物資の適正管理

① 一般物資の検査

細菌感染を防ぎ安全安心な物資を提供するため肉や魚などのうち、年間を通して使用頻度の高い国産牛のスライスなど30品目について、毎年学期毎に1回、年3回、細菌検査（大腸菌、ブドウ球菌、サルモネラ菌、腸炎ビブリオ、カンピロバクター）を実施し、それに類する20品目については各メーカーに対し、自主検査、公的検査による細菌検査表を徴求する。

また、冷凍野菜20品目についても、300成分の残留農薬検査を年1回実施。検査については（公財）山口県予防保健協会に委託、より安全・安心な物資を提供する。

② 基本物資の検査・検定

基本物資の精米・玄米については、品質の確認（検定）を（一財）日本穀物検定協会に委託して実施する。また、玄米については、20地域の米の残留農薬・カドミウム検査を新米収穫時に一括して実施する。

なお、従来、パン用小麦粉についても厳格に品質確認を行うため、（一財）日本穀物検定協会に委託して検定を実施していたが、仕入の際に納入業者が同様の検査を行っていることから、令和5年度より取り止める。

③ 学校給食用パンの品質審査

学校給食用パンの品質向上のため、行政、県学校栄養士会、PTA等の代表者並びに専門家により、品質の審査を行う。また、審査の結果はパン加工委託業者、市町教育委員会、パン供給実施学校へ通知し併せて専門家による加工委託業者へ指導・助言を行い、品質向上を図る。

④ 本会オリジナル商品の産地確認・製造工場への巡検

令和元年8月本会がオリジナル商品の製造を委託している業者による産地偽装事案が発生したため、その再発防止策の一環として、引続き本会オリジナル商品の製造を委託している7業者すべての工場へ出向き、衛生管理、製造工程、産地等の調査確認を行う。

(2) 学校給食用冷凍・冷凍冷蔵保管庫の無償貸付事業

令和3年度からは新規貸し付けは行わず、これまで貸し付けを行った保管庫の廃棄処分等に係る事務のみ行っている。

(3) 学校給食施設等における衛生管理の支援

① 学校給食衛生管理指導者講習会の実施

各市町において衛生管理の指導的立場にある市町教育委員会、県立の学校給食関係者、栄養教諭・学校栄養職員等を対象として食中毒防止対策等の必要な知識及び実務的な対策方法を習得させ、衛生管理に関する指導力の向上を図る。

主 催 山口県教育委員会、(公財)山口県学校給食会
開催方法 会場型(給食会又は県庁職員ホール)

② 衛生検査器具の無償貸付事業

児童生徒に対し効果的な手洗いを指導するため、手洗いチェッカーやATP(拭き取り検査器具)・ふらん器などの貸出し及び試薬の無償提供を行う。

③ 指定委託工場の巡回調査実施

専門業者により、パンの製造や炊飯を委託している工場(11施設・13工場)に対し、上半期は13工場全てに巡回衛生調査と衛生講習会を行い、下半期は、異物混入が多い5工場に実施し、異物混入防止を含め、現場の衛生管理が徹底するよう指導する。

また、重大な異物混入など給食事故を起こした加工委託工場に対し、必要に応じて専門業者による立入調査を実施する。

④ 加工委託工場A T P拭き取り検査について

加工委託工場の衛生管理取組体制強化を目的に調理器具の洗浄不足、雑菌の繁殖などの防止のため月1回拭き取り検査を実施する。

⑤ 職員の検便の実施

毎月2回実施する。(10月～3月；ノロウイルス検査1回)

4 設備投資について

<設備関連>

(1) 冷凍冷蔵倉庫の冷凍機圧縮機の入替

冷凍冷蔵倉庫の2台ある冷凍機のうち、1台の圧縮機が故障し、入替えが必要となったもの。1台だけでは負荷が掛かりすぎてストップ(故障)する可能性が大きいため、2台での稼働とする必要がある。

なお、冷凍・冷蔵倉庫は耐用年数を超え、老朽化も進んでいることから、建て替えを行うか、もしくは現倉庫を、大掛かりな工事・資金が必要でない補強により使用を続けるかを含めて、具体的な計画に着手することとする。

<車両運搬具関係>

(1) 車両の入替について

本会は冷凍冷蔵機搭載の2tトラック10台を有しており、そのうち3台は平成21年度登録車で、うち1台が走行距離も55万キロ以上となり、経年劣化に伴う修理が多くなっているため、令和5年度に入れ替える。

なお、冷凍冷蔵トラックも値上がりしており、現金による一括払いとすると、一度に多くの資金が必要となることから、運転資金に余裕を持たせるため、リース方式とする。

車両については、現在は、最大積載量が2t、車両総重量を5t未満としているが、制度改正により、平成29年3月以降に取得した普通免許で運転できるのは、車両総重量が3.5t未満の車となっていることから、令和5年度より、最大積載量が2t未満、車両総重量が3.5t未満のトラックも検討する。

また、新車の場合、依然として、納車に半年から1年近く要することもあるため、同時に比較的程度の良い中古車の導入も併せて検討する。

今後も、初年度登録が古く、走行距離・修理が多くなっている車について、状態を見ながら随時入れ替え、物資供給体制の維持を図っていく。

5 車両関係の修理について

本会の配送用車両3台は10年以上長期間使用しており、他の車両も30万キロ以上走行しているものもあることから、令和4年度は修理費用が高んだ。このうち、1台は令和5年度に入れ替えを計画していることから、修理費は、令和4年度実績比の半額程度とした。

6 施設の修繕について

本会施設・設備の大半が建設当時のもので耐用年数を超過しており、老朽化が進んでいることから、前年度と同額の修繕費を置いておくこととする。

7 職員研修等の実施について

全給連主催等の研修会（職員研修、衛生管理研修、物資実務研修）を活用し、本会職員のレベルアップを図る。

8 資産取得資金の積立について

冷凍・冷蔵倉庫建て替えの原資とする当該積立については、期間を平成27年から令和6年までの10年間として計画した。（着工は令和7年度）令和5年度は売上・財務状況を見ながら積立の実施について判断する。

9 令和5年度 行事予定

| | | |
|--|-----------------------|----------|
| (1) 役員会・評議員会の開催 | | |
| ① 令和5年度第1回通常理事会 | 令和5年5月予定 | 県給 |
| 令和5年度年度定時評議員会 (令和4年度事業報告(案)及び決算(案)の承認ほか) | 令和5年6月予定 | 県給 |
| ② 令和5年度第2回通常理事会 | 令和6年3月予定 | 県給 |
| 令和5年度臨時評議員会 (令和6年度事業計画(案)及び予算(案)の決議・承認ほか) | 令和6年3月予定 | 県給 |
| (2) 給食会主催 | | |
| ① 物資選定委員会 (年2回開催) | 令和5年7月予定 令和6年3月予定 | 県給 県給 |
| ② 学校給食用パンの品質審査 | 令和5年10月予定 | 県給 |
| ③ 学校給食料理コンクール (一次・二次審査会) | 令和5年11月～ 令和5年12月予定 | 県給 |
| (3) 関連会議・研修会 (全国、中国・四国ブロック、県内) | | |
| ① 全国学校給食推進連合会関係 | | |
| 全国学校給食推進連合会監事会 | 令和5年6月中旬 | 東京 |
| 全国学校給食推進連合会第1回通常理事会 | 令和5年6月中旬 | 東京 |
| 全国学校給食推進連合会第2回通常理事会 | 令和6年2月中旬 | 東京 |
| 全国学校給食推進連合会定時社員総会 | 令和5年6月30日 | 東京 |
| 全国学校給食推進連合会管理職研修会 | 未定 | 東京 |
| 全国学校給食推進連合会中堅職員研修会 | 令和5年9月中旬～下旬 | 東京 |
| 全国学校給食推進連合会実務担当者研修会 (オンライン) | 令和5年11月12月 | 東京 |
| 第18回食育推進全国大会 | 令和5年6月24～25日 | 富山 |
| 第64回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会 | 令和5年8月3～4日 | 鳥取 |
| 第74回全国学校給食研究協議大会 | 令和5年10月19～20日 | 東京 |
| ③ 中国・四国ブロック関係 | | |
| 中国・四国九県代表者会議 | 令和5年11～12月予定 | 高知 |
| 中国・四国物資安定対策協議会 | 令和5年11～12月予定 | 徳島 |
| 中国・四国ブロック別研究協議会 | 令和5年5月31日 | 岡山 |
| 中国・四国幹部職員研修会 | 令和6年1月中旬予定 | 愛媛 |
| (ア) 県内 | | |
| 山口県学校給食研究協議大会 | 令和5年8月17日 | 山口 |